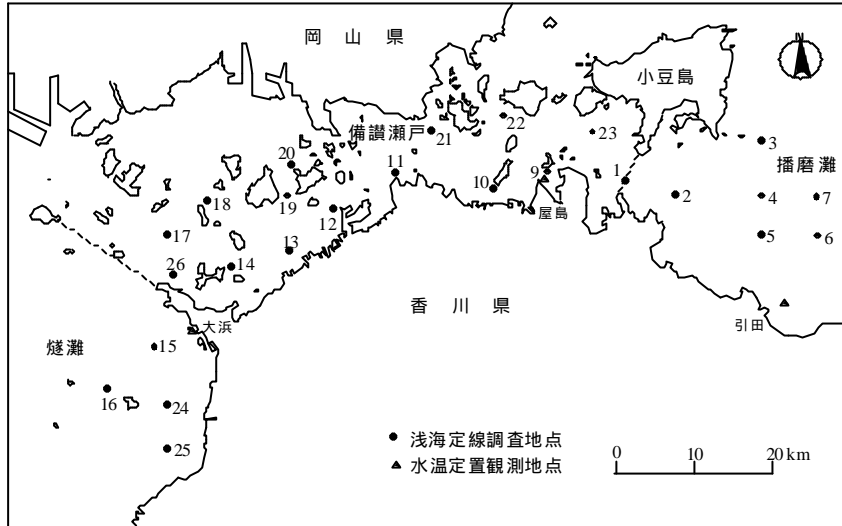


香川県漁海況速報 平成15年11月 (H15- 8号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成15年10月5日(播磨灘)、6日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「やや低めから平年並み」、透明度は「やや高めから著しく高め」、溶存酸素は「著しく低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	21.6	21.6	21.7	31.7	31.7	31.9	11.9	4.84	4.75
	平年値	21.3	21.3	21.4	31.8	31.8	32.0	8.4	5.01	4.87
	平年偏差	0.4	0.4	0.4	-0.1	0.0	-0.1	3.5	-0.17	-0.12
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	著しく高め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	21.2	21.1	21.1	31.5	31.5	31.5	7.2	4.72	4.74
	平年値	20.7	20.6	20.5	31.5	31.5	31.7	4.9	5.01	4.98
	平年偏差	0.5	0.5	0.6	0.0	0.0	-0.2	2.3	-0.29	-0.24
	状況	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	著しく高め	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	21.1	21.5	21.5	31.0	31.9	32.0	8.6	4.91	4.32
	平年値	21.0	20.8	20.9	31.8	31.9	31.9	7.2	5.50	5.18
	平年偏差	0.2	0.6	0.6	-0.9	0.0	0.1	1.4	-0.59	-0.86
	状況	平年並み	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	著しく低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

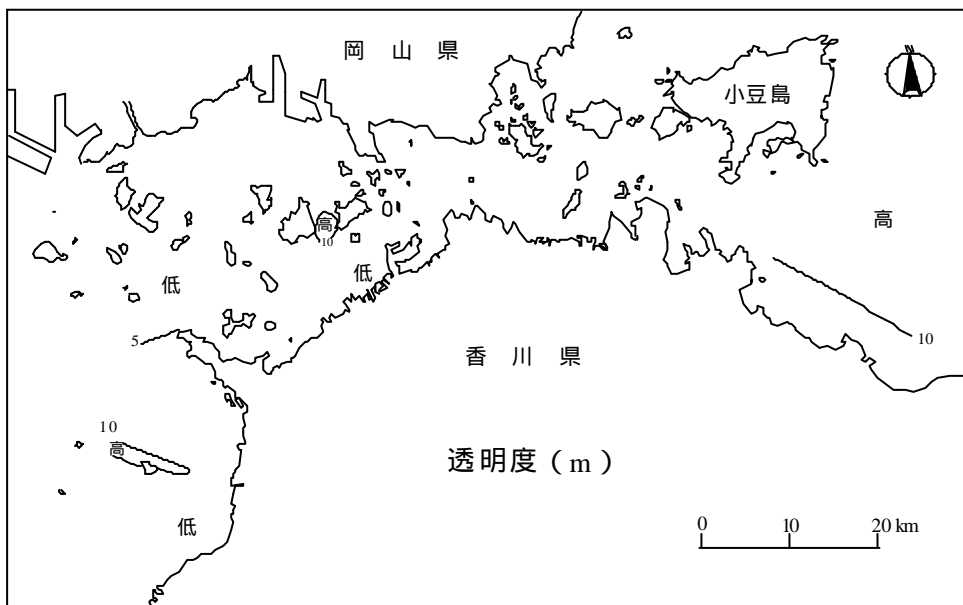
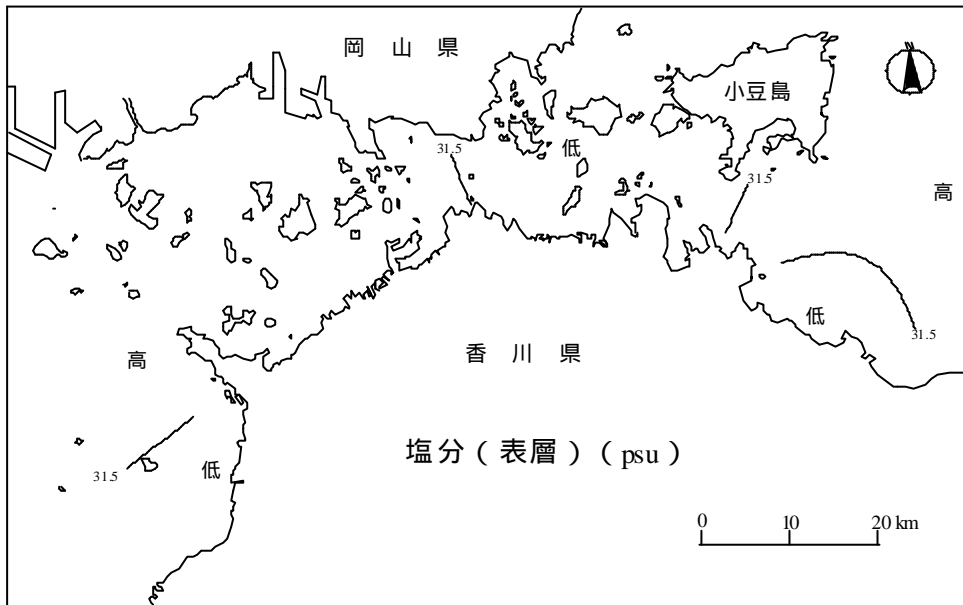
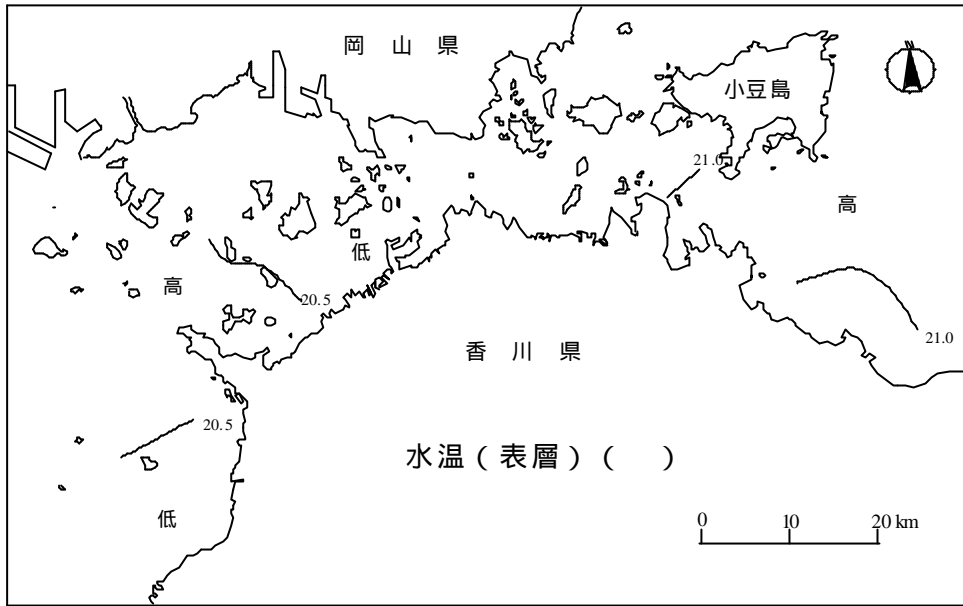
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	



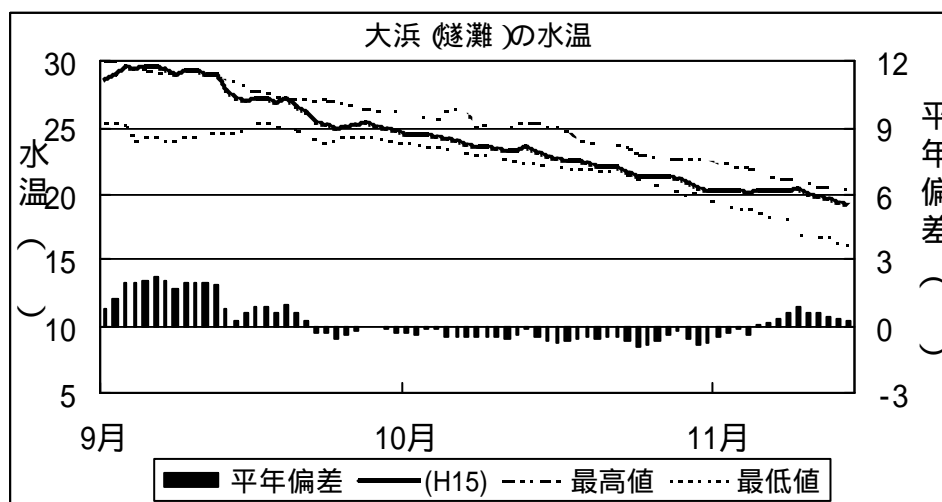
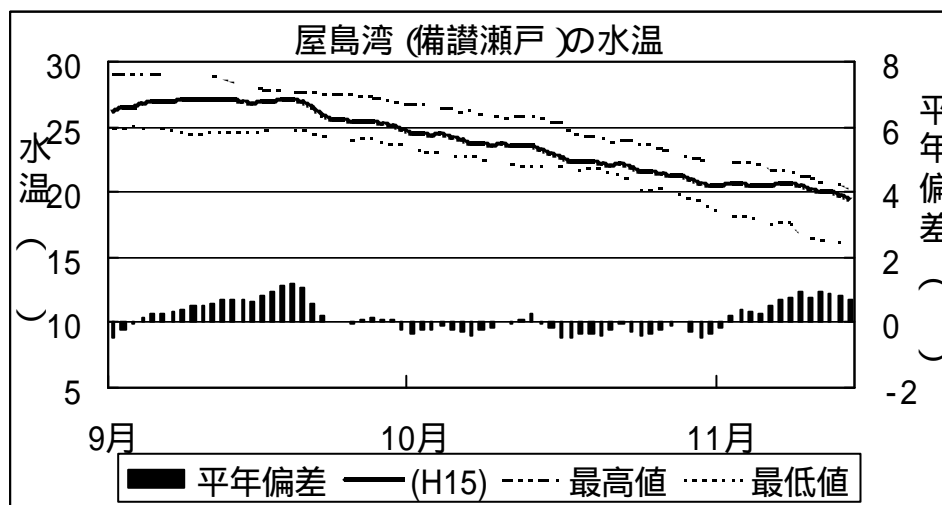
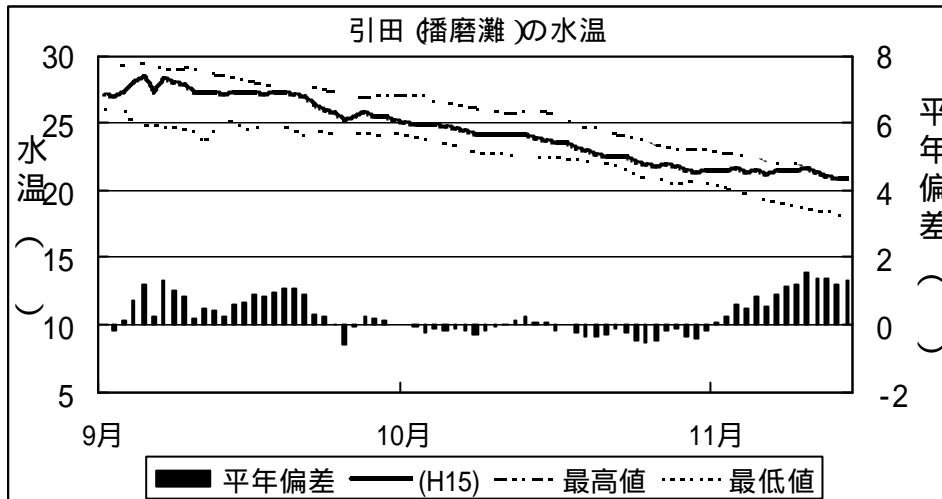
2) 定量観測(水温)

播磨灘(引田): 1 前後で推移していた年平均偏差が9月下旬に小さくなり、11月に入り大きくなり、1 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 9月下旬頃まで年平均偏差が徐々に大きくなった後、下旬には小さくなっていったが、11月に入り大きくなり1 程度で推移している。

燧灘(大浜): 2 前後で推移していた年平均偏差が9月中旬から小さくなり、10月中は-1 前後で推移していたが、11月に入り大きくなり1 程度で推移している。

年平均値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年
屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：11月上旬内海湾で *Ceratium furca* による赤潮の発生があった。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成15年11月5日（播磨灘）、6日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.75
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.87	0.20
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
総平均	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.30

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
燧灘平均	0.0%	-	-	-
総平均	26.5%	0.0%	0.0%	0.0%

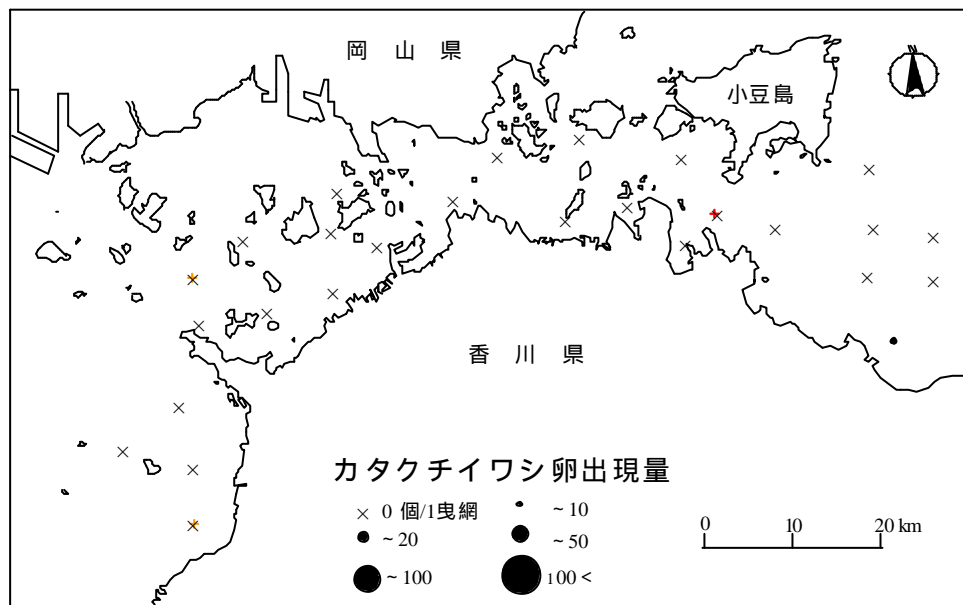
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成14（2002）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成14（2002）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



2. 漁況

10月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にイボダイ、小エビ類、シャコ、小型イカが漁獲されているが、全般的に低調である。 シラス船曳網は11月に入っても漁獲が続いており、10月の漁獲量は前年並みであった。 津田海岸では、地曳網でカタクチイワシが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網ではウシノシタ類、メイタガレイ、小エビ類、マダコ、イイダコ、小型イカ類が漁獲されているが、イイダコの漁獲は例年に比べると少ないようである。
燧 灘	底びき網で主にメイタガレイ、シャコ、ガザミ、テンジクダイ、小エビ類、コウイカ類が漁獲されている。 サワラ流し刺網では5尾程度/日・隻サワラ(2.5kg/尾)を漁獲している